



社会人大学院生を経験して～今後の課題・展望：鳥取の地域医療の充実に向けて

鳥取市立病院診療部総合診療科 懸樋 英一（鳥取県 26 期）

鳥取 26 期卒業の懸樋英一と申します。地域医療学部門・梶井英治教授（鳥取 1 期）の元で、平成 25 年 3 月に社会人大学院を卒業、学位を取得することができましたので報告させて頂きたいと思ひます。

地域医療学教室では、JMS コホート研究の一環で、「日本人における Non-HDL-Cholesterol と虚血性脳卒中発症との関連についての研究」というテーマで疫学研究を行いました。石川鎮清先生（福岡 12 期）、小谷和彦先生（鳥取 15 期）には、



論文の書き方、投稿の仕方などご指導頂き、Asia-Pacific Journal of Public Healthに受理して頂くことが出来ました¹⁾。その後学位論文を仕上げ、最終段階では河野幹彦先生（宮崎 1 期）にご指導頂き、学位取得に至ることが出来ました。

疫学に関心を持ったのは卒後 4～6 年目に鳥取市佐治町国保診療所に派遣の時期でした。当時は、この地域の生活習慣病対策にどのように関わればいいのか分からない状況であったので、研究会などの時に県内の先生方に相談して模索しておりました。小谷和彦先生には疫学・公衆衛生学を中心とした勉強の機会を与えて頂き、その過程で自治医科大学社会人大学院の話伺い、卒後 7 年目に入学を決めました。

授業は、自治医科大学図書館のホームページ上でのビデオ講義を受けました。大学院共通カリキュラムと特別講義を受け、一般的な研究のイロハについて学びました。地方在住の大学院生にとってインターネットで授業が受けられるのは非常に便利だと感じました。

研究は、Non-HDL コレステロールと虚血性脳卒中の関連について行いました。Non-HDL コレステロールとは、総コレステロール値から HDL コレステロール値を引いた値であり、動脈硬化惹起物質を含んでいるため動脈硬化性疾患の良いマーカーと報告されています。食事の影響を受けにくい点も、必ずしも空腹では無いこともある健診においては便利なマーカーとも言えます。当然、虚血性脳卒中は増加することが仮説に挙げられました。しかし、得られた結果は男性では有意差無し、女性では Non-HDL コレステロールが減少すると虚血性脳卒中発症が増加するという結果が出てしまいました。当時の学説とは異なる見解であったことや、自分の考察が甘いことも含め受理に至ることはできませんでした。レビュアーとのやりとりの過程で、虚血性脳卒中についてだけではなくそのサブタイプについても解析することが必要であると指摘を受け、虚血性脳卒中とそのサブタイプとの解析結果を加えることで体裁を整えていきました。

大学院 3 年目は義務最後の年であり、区切りよく受理されるよう頑張りましたが無理でした。義務明けの卒後 10 年目も県職員として鳥取県に残り、地元である鳥取市立病院に派遣となり総合診療科で勤務することになりました。医師不足に悩まされる地域の病院であったため、義務年限内と変わらず疲弊する毎日を過ごしていました。その状況でリジェクトが続くと、精神的にも肉体的につらく感じておりました。指導医の先生方から

も熱心に指導を受けていたので、その恩を返すためにも絶対アクセプトされるんだという気持ちで臨みました。平成24年11月にアクセプトのメールが来た時は本当に嬉しく思いました。過去の自分を振り返ると、こんな自分でも国際雑誌に掲載されるのかと夢のような気持ちにもなれましたし、改めて指導を頂いた先生方のおかげだと感じました。

現在地域の総合診療科に携わる上で、疫学・公衆衛生的な視野が大切だと気付けたことは大きな財産だと感じております。しかし、一人で何役もこなさなければならない医療機関において、社会人大学院の勉強に費やす時間を確保することは非常に困難と思われます。当地域の医師の充実はまだだと感じております。後輩の先生方が研究に興味を持って、現在の鳥取県内のマンパワーでは診療と研究の両立は極めて困難と思われます。大学院を経験した現在の自分の課題は、当地域で医療関係者が働きやすい環境を提供することで、後輩の先生方が研究に従事できる環境を提供することかと感じております。

改めて、小谷和彦先生、石川鎮清先生には熱心にご指導いただき、この場を借りて感謝申し上げたいと思ひます。

1) Kakehi E, Kotani K, Ishikawa S, Gotoh T, Kayaba K, Nakamura Y, Kajii E. Serum Non-High-Density Lipoprotein Cholesterol Levels and the Incidence of Ischemic Stroke in a Japanese Population: The Jichi Medical School Cohort Study. Asia Pac J Public Health, in press, 2013.



鳥取市立病院遠景

！！地域医療オープン・ラボNews Letter原稿募集！！

地域医療オープン・ラボでは、自治医大の教員や卒業生の研究活動を学内外へ発信するために、「自治医科大学地域医療オープン・ラボNews Letter」を定期的に発行しています。

<http://www.jichi.ac.jp/openlab/newsletter/newsletter.html>

- ☆ 自治医大の教員や卒業生の研究活動をご紹介ください
- ☆ 自薦・他薦を問いません
- ☆ 連絡先：地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp